住宅用火災警報器を取り付けたその後に・・・

住宅用火災警報器は、「いざ」というときに、きちんと作動しなくてはいけません。

万が一のために、警報が鳴ったときの正しい対処方法を知っておきましょう。

①　警報が鳴ったときは・・・

火災のとき

火元を確認し、避難してください。
119 番通報や、可能ならば初期消火を行ってください。

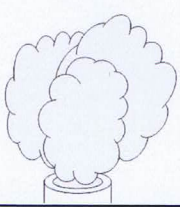
火災でないとき

・たばこの煙、調理中の湯気や煙などを感知して、警報が鳴ることがあります。警報音停止ボタンを押す（ひもが付いているタイプのものは、ひもを引く）か、室内の換気をすると警報音は止まり通常の状態に戻ります。

⇨ 台所などで、火災ではないのに頻繁（ひんぱん）に鳴る場合は、煙や湯気が直接かからない場所に警報器の場所を変えるか、熱式の警報器に取り替えてください。

・煙の出る殺虫剤などを使用すると、警報が鳴ることがあります。警報器を取り外す、または、ビニール袋で覆うなどしてください。

⇨ 煙の出る殺虫剤などを使用した後は、すみやかに元に戻してください。



電池切れのとき

ピッ・・・ピッ・・・と短い音が一定の間隔で鳴る場合は、電池切れの注意音です。
火災ではありません。電池を新しいものに交換してください。

② お手入れ方法

・警報器にほこりがつくと、火災の煙を感知しにくくなります。年に１回は、乾いた布でふき取りましょう。
・台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。家庭用中性洗剤を浸して十分絞った布で軽く拭き取ってください。
・故障の原因になりますので、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

③ 作動テストをしましょう！

定期的に、警報器が正常に作動するかテストしましょう！
また、次のときは必ず作動テストをしてください。

●初めて警報器を設置したとき　●設置場所を変えたとき
●掃除をしたとき　●長い間留守にしたとき
●故障や電池切れの疑いがあるとき

テストの方法

テストボタンを押す。または、ひもを引くなど機種によって異なります。取扱説明書をご確認ください。

音が鳴らない・・・次のことを確認してみてください。

●電池は、きちんとセットされていますか？
●電池切れではありませんか？
●それでも鳴らないときは、故障が考えられます。取扱説明書をご確認ください。

◆ご注意ください！◆

① 警報器の機種によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ずご確認ください。
② お手入れやテストは、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を行ってください。

飛騨市消防本部　予防課
TEL：0577 - 73 - 6199（直通）
FAX：0577 - 73 - 6199